

専攻建築士審査・登録申請 誓約書 (様式1)

(※事務局使用欄)

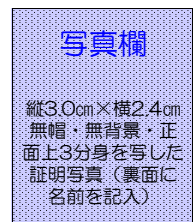
私は、専攻建築士制度の登録をしたいので、審査・登録の申請をします。
 私は、この審査・登録申請書に記入した事項および添付した書類の内容が真実で、かつ、正確であることを誓います
 また、日本建築士会連合会「専攻建築士制度」規則並びに「建築士会会員倫理規定」を遵守し、建築資格者として常に研鑽を心がけ、自己の業務・行動について責任を負うことを同意します。
 なお、この審査・登録申請書及び添付書類の内容が真実と相違がある場合には、登録を取消されても異存ありません。専攻建築士として登録後、上記同意に反した事実が判明した場合には、登録を抹消されても異存ありません。

平成21年 11月12日

社団法人 日本建築士会連合会 会長 殿
 社団法人 滋賀県建築士会 会長 殿

申請者氏名 (自署) 建築 太郎 

専攻領域	表示すべき専門分野	専門分野		
1. まちづくり専攻建築士	—			
② 設計専攻建築士	—	戸建住宅	集合住宅	
3. 構造設計専攻建築士	—		—	—
4. 環境設備設計専攻建築士	空・衛・電			
⑤ 生産専攻建築士	診断改修			
6. 棟梁専攻建築士	—			
7. 法令専攻建築士	—			
8. 教育研究専攻建築士	—			



平成21年11月撮影
(最近3ヶ月以内のもの)

※該当する専攻領域に○印を付けて下さい。
 ※専攻領域は、3領域まで申請できます。環境と生産領域では「表示すべき専門分野」をご確認下さい。
 ※専門分野表示は、「表示すべき専門分野」を除き、専攻領域毎に3分野まで申請できます。

申請区分

会員No. 1000000

※専攻領域の実務年数と、CPD申告単位数を記入してください。

下記2の該当領域での実務実績免除資格をお持ちの方は様式3-1、4が省略できます

<p>①. 専攻実務 (15) 年 + CPD (270) 単位</p> <p>※生産(診断・改修) 専門分野表示申請必要資格・・・下記のいずれかの資格をお持ちお方のみ表示可能</p> <p>■特殊建物等調査資格者 □建築設備検査資格者 □建築仕上診断技術者 □建築設備診断技術者 □建築・設備総合管理技術者</p>	<p>*確認</p>
<p>2. 実務実績免除資格者</p> <p><設計専攻> □APECアーキテクト <構造> □APECエンジニア(構造) □建築構造士 <生産一積算限定> □建築積算資格者 <環境設備> □JABMEEシニア <棟梁> □日本伝統建築技術保存会認定者 <法令> □建築基準適合判定資格者 <棟梁> □日本伝統建築技術保存会認定者 <法令> □建築基準適合判定資格者</p>	

◎申請書に記載された個人情報は、申請に伴う業務(申請・審査のための連絡、結果の送付、登録証の交付等に関するもの、及び登録証の管理のため)に使用いたします。また、この個人情報は、個人情報保護規則に基づき、適切に管理いたします。

専攻建築士申請書 (様式2)

※受付No. _____

※専攻建築士制度は、表示制度であり登録者名簿を作成し、本会HP等で氏名等を公表いたします。

※登録No.		会員No. 1000000	
ふりがな けんちく たろう 氏名 建築 太郎		生年月日 1969年 10月 10日 (45) 歳 性別 男 ・女	本籍地 滋賀 都・道府・県
<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px;"> <p>写真欄</p> <p>縦3.0cm×横2.4cm 無帽・無背景・正面 上3分身を写した 証明写真 (裏面に名前記入)</p> </div> <p>平成21年11月撮影 (最近3ヶ月以内のもの)</p>	現住所 大津市 におの浜 〇〇 5-6-7		
	〒 520-〇〇〇〇 TEL 077-523-1000 FAX 077-523-1001		
	勤務先 建築太郎設計事務所		
	所属部署 _____ 役職 所長		
所在地 大津市 におの浜 〇〇 3-2-1			
〒 520-〇〇〇〇 TEL 075-523-0001 FAX 075-523-0002			
E-mail sekkei@kenchiku-tarou.co.jp			
ホームページ URL		http://www.sekkei-taro.ne.jp	
建築士 資格登録	一級建築士登録番号 No. 222222		昭和 平成 7 年 2 月 1 日登録
	二級 ・木造(都道府県名 滋賀県) No. 55555		昭和・ 平成 4 年 12 月 27 日登録
	構造設計・設備設計一級建築士 No. _____		平成 _____年 _____月 _____日登録・修了
最終学歴	卒業年	昭和・平成 62 年 3 月 学校名 〇〇大学	
	学部学科名	工学部建築学科	
その他の学歴 (大学院等)	昭和62年4月 ~平成元年 3月 〇〇大学工学部大学院建築学専攻修了		
現在の 業務内容	職域 (1) 最も主と思われる職域、職務を一つだけ選び、その数字を記入して下さい。		
	1. 建築士事務所、 2. 構造設計事務所、 3. 設備設計事務所、 4. 積算事務所、 5. ｺﾝｽﾀﾙ、 6. 建設業、 7. プレハブ住宅業、 8. 製造業、 9. 金融/保険業、 10. 商業、 11. 不動産業 12. 官公庁、 13. 公社・公団等、 14. 学校、 15. その他 (_____)		
右の該当する もの各1つを 選択してくだ さい	職務 (5)		
1. 構造設計、 2. 設備設計、 3. 積算見積、 4. 調査・鑑定・企画、 5. 建築設計一般、監理、 6. 工事監理、 7. 都市計画、 8. 技能労務(大工など)、 9. 現場管理、 10. 経営、 11. 営業・販売、 12. 試験・研究、 13. 維持管理、 14. 建材製造・開発、 15. 代理業務(代願)、 16. 行政、 17. 教育、 18. その他			
他の 所属団体	(社)日本建築学会		
他建築関連 資格(取得 年)、受賞 履歴・著者論 文等	(社)商業施設技術者・団体連合会 商業施設士 登録番号 1234 登録年 1997年		
	※以下の資格をお持ちの方は□にチェックを入れ、登録年を記入して下さい。 <input type="checkbox"/> 一級建築施工管理技士(登録 _____年) <input type="checkbox"/> 建築設備士(登録 _____年) <input type="checkbox"/> 一級電気工事施工管理技士(登録 _____年) <input type="checkbox"/> 一級管工事施工管理技士(登録 _____年)		
社会活動	滋賀県応急危険度判定員登録		
建築(業 務)に関す る考え方・ 心がけてい る事	建築地の周辺環境に配慮して、建築主からの要望に沿うデザインコンセプトを心掛けています。		

※名簿等公開拒否欄 (今後HP等で認定内容を表示する場合、公開したくない項目に×印を付けて下さい。)

勤務先名	勤務先TEL	MAIL	HP URL	他所属団体	他資格	社会活動	建築の考え方	CPD参加者名簿への登録
	×							

建築士免許取得後の職務経歴 (様式3)

氏名	建築 太郎
----	-------

- 注意 1. 建築士免許取得時から現在までの、勤務・職務経歴について記入願います。
 2. 施工管理技士等の建築士免許取得前の実務期間を必要とする場合は、その期間を含め記入して下さい。
 3. 業務内容欄には、業務の概要・役割がわかるように具体的な内容を記入願います。
 4. 1枚に書ききれない場合は、コピーしてお使いください。

業務期間	H5年 1月 ~ H8年 9月 (3年 9ヶ月)	専攻領域	設計	内専攻領域別実務として申請する年数	3年 9ヶ月
勤務先・部署	滋賀建設株式会社 設計部 建築室				
所在地	〒 520-0000 大津市 におの浜 00 1-2-3				
主な業務内容(物件・件数等)	戸建住宅設計、集合住宅設計				
業務期間	H8年 10月 ~ H12年 3月 (3年 6ヶ月)	専攻領域	生産	内専攻領域別実務として申請する年数	3年 6ヶ月
勤務先・部署	滋賀建設株式会社 設計部 建築室				
所在地	〒 520-0000 大津市 におの浜 00 1-2-3				
主な業務内容(物件・件数等)	戸建住宅・集合住宅の工事管理業務				
業務期間	H12年 4月 ~ H20年 10月 (8年 7ヶ月)	専攻領域	設計	内専攻領域別実務として申請する年数	8年 7ヶ月
勤務先・部署	建築太郎設計事務所				
所在地	〒 520-0000 大津市 におの浜 00 3-2-1				
主な業務内容(物件・件数等)	戸建住宅設計、集合住宅設計・監理				
業務期間	年 月 ~ 年 月 (年 カ月)	専攻領域		内専攻領域別実務として申請する年数	年 ヶ月
勤務先・部署					
所在地	〒 -				
主な業務内容(物件・件数等)					

建築士免許取得後の実務経歴年数	15年 10ヶ月	領域1	設計	12年 4ヶ月
		領域2	生産	3年 6ヶ月
		領域3		年 ヶ月

* 審査使用欄			
---------	--	--	--

専攻領域別実務経歴 (1 / 1) (様式 3 - 1 - まち) < 専攻領域別書式、1 領域 1 枚作成 >

- 注意
1. 該当項目を■塗潰し、領域毎に書類が異なりますので1枚に1専攻のみを記入して下さい。
 2. できるだけ最近の実務経歴を中心にご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。算定対象の実務は、20年前までのものです。
 3. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いて記入して下さい。
 4. 専門分野表示を希望する場合は、各分野3件以上の実務経歴を下記に記入し、うち1例以上を「責任ある立場」として様式4で写真等を添付し申請して下さい。「様式4」に記入して下さい。
 5. 1枚に書ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。

氏 名	建築 太郎	
専門分野	1	都市デザイン
	2	再開発
	3	まちづくり コーディネーター

まち づくり 1	業務(プロジェクト)名: ○○地区文化都市基本計画	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他()	
	プロジェクト概要: 民間開発提案		
	担当期間: 1996年 7月～ 1997年 4月(10 ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 都市デザイン	
2	業務(プロジェクト)名: ○○団地1、2 共同建替	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他(密集住宅市街地整備、共同建替事業計画、合意形成)	
	プロジェクト概要:		
	担当期間: 1997年 10月～ 2003年 10月(73 ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名:	
3	業務(プロジェクト)名: ○○町まちかど資源活用保全調査	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他()	
	プロジェクト概要:		
	担当期間: 2001年 4月～ 2002年 3月(12 ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名:	
4	業務(プロジェクト)名: ○○市土地区画整理事業	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動(まちづくり計画) その他()	
	プロジェクト概要: 委員		
	担当期間: 2002年 8月～ 2003年 7月(12 ヶ月)		
	役割: □責任ある立場 ■担当者	専門分野名:	
5	業務(プロジェクト)名: 大阪府建築士会まちづくり研究会活動 地域貢献活動基金対象事業審査 プロジェクト概要: 新規募集・中間審査等	実務内容 都市計画 再開発事業 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他(支援事業審査員としての活動)	
	プロジェクト概要:		
	担当期間: 2003年 10月～ 2005年 9月(24 ヶ月)		
	役割: □責任ある立場 ■担当者	専門分野名:	
6	業務(プロジェクト)名: ○○地区まちなみ景観整備 基本計画	実務内容 都市計画 再開発事業(住棟設計及び街区調整、街区間隔調整業務) 区画整理事業 開発行為 まちづくり活動 その他()	
	プロジェクト概要: 再開発事業		
	担当期間: 2004年10月～ 2005年 7月(13 ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: まちづくりコーディネーター	
* 審査欄		頁内領域別実務年数(計)	頁内重複除く実務年数
		13 年 0 ヶ月	8 年 6 ヶ月

専攻領域別実務経歴 (1 / 1) (様式 3 - 1 - 設計) < 専攻領域別書式、1 領域 1 枚作成 >

- 注意 1. 該当項目を■塗潰し、領域毎に書類が異なりますので1枚に1専攻のみを記入して下さい。
 2. できるだけ最近の実務経歴を中心にご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。算定対象の実務は、20年前までのものです。
 3. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いて記入して下さい。
 4. 専門分野表示を希望する場合は、各分野3件以上の実務経歴を下記に記入し、うち1例以上を「責任ある立場」として様式4で写真等を添付し申請して下さい。「様式4」に記入して下さい。
 5. 1枚に書ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。APECアーキテクトの認定証(写し)提出の方は、この書式と様式4の提出は不要です。

氏名	建築 太郎	
専門分野	1	戸建住宅
	2	集合住宅
	3	PM

設計	業務(プロジェクト)名: ○○ 邸新築工事	実務内容 <input type="checkbox"/> 企画設計 <input checked="" type="checkbox"/> 基本設計 <input checked="" type="checkbox"/> 実施設計 <input checked="" type="checkbox"/> 工事監理 <input type="checkbox"/> その他()
	プロジェクト概要: 専用住宅	規模構造: <input type="checkbox"/> RC造、 <input checked="" type="checkbox"/> S造、 <input type="checkbox"/> SRC造、 <input type="checkbox"/> 木造
	担当期間: 1996年 6月～ 1997年 2月(9ヶ月)	階数: 地上 3 階、地下 階、 延床面積 188 m ²
	役割: <input type="checkbox"/> 責任ある立場 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者	専門分野名: 戸建住宅
	業務(プロジェクト)名: ○○ コーポ改築工事	実務内容 <input checked="" type="checkbox"/> 企画設計 <input checked="" type="checkbox"/> 基本設計 <input checked="" type="checkbox"/> 実施設計 <input checked="" type="checkbox"/> 工事監理 <input type="checkbox"/> その他()
	プロジェクト概要:	規模構造: <input checked="" type="checkbox"/> RC造、 <input type="checkbox"/> S造、 <input type="checkbox"/> SRC造、 <input type="checkbox"/> 木造
2	担当期間: 1997年 2月～ 1999年 3月(26ヶ月)	階数: 地上 4 階、地下 階、 延床面積 1,480 m ²
	役割: <input type="checkbox"/> 責任ある立場 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者	専門分野名: 集合住宅
3	業務(プロジェクト)名: ○○ 病院新築工事	実務内容 <input checked="" type="checkbox"/> 企画設計 <input checked="" type="checkbox"/> 基本設計 <input checked="" type="checkbox"/> 実施設計 <input checked="" type="checkbox"/> 工事監理 <input type="checkbox"/> その他()
プロジェクト概要: 病院	規模構造: <input checked="" type="checkbox"/> RC造、 <input type="checkbox"/> S造、 <input type="checkbox"/> SRC造、 <input type="checkbox"/> 木造	
担当期間: 2000年 5月～ 2002年 4月(24ヶ月)	階数: 地上 5 階、地下 階、 延床面積 2,800 m ²	
役割: <input checked="" type="checkbox"/> 責任ある立場 <input type="checkbox"/> 担当者	専門分野名: プロジェクト・マネジメント (PM)	
4	業務(プロジェクト)名: ○○ 邸及び マンション新築工事	実務内容 <input checked="" type="checkbox"/> 企画設計 <input checked="" type="checkbox"/> 基本設計 <input checked="" type="checkbox"/> 実施設計 <input checked="" type="checkbox"/> 工事監理 <input checked="" type="checkbox"/> その他()
プロジェクト概要: 専用住宅兼集合住宅	規模構造: <input checked="" type="checkbox"/> RC造、 <input type="checkbox"/> S造、 <input type="checkbox"/> SRC造、 <input type="checkbox"/> 木造	
担当期間: 2002年 3～ 2002年 12月(10ヶ月)	階数: 地上 2 階、地下 階、 延床面積 270 m ²	
役割: <input checked="" type="checkbox"/> 責任ある立場 <input type="checkbox"/> 担当者	専門分野名: プロジェクト・マネジメント (PM)	
5	業務(プロジェクト)名: ○○ 幼稚園新築工事	実務内容 <input checked="" type="checkbox"/> 企画設計 <input checked="" type="checkbox"/> 基本設計 <input checked="" type="checkbox"/> 実施設計 <input checked="" type="checkbox"/> 工事監理 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学校法人設立にかかわるコンサルタント)
プロジェクト概要: 教育施設	規模構造: <input type="checkbox"/> RC造、 <input type="checkbox"/> S造、 <input type="checkbox"/> SRC造、 <input type="checkbox"/> 木造	
担当期間: 2004年 1月～ 2005年 5月(17ヶ月)	階数: 地上 2 階、地下 階、 延床面積 1,570 m ²	
役割: <input checked="" type="checkbox"/> 責任ある立場 <input type="checkbox"/> 担当者	専門分野名: 教育施設	
6	業務(プロジェクト)名: ○○ 邸新築工事	実務内容 <input checked="" type="checkbox"/> 企画設計 <input checked="" type="checkbox"/> 基本設計 <input checked="" type="checkbox"/> 実施設計 <input checked="" type="checkbox"/> 工事監理 <input type="checkbox"/> その他()
プロジェクト概要: 二世帯住宅	規模構造: <input type="checkbox"/> RC造、 <input type="checkbox"/> S造、 <input type="checkbox"/> SRC造、 <input checked="" type="checkbox"/> 木造	
担当期間: 2005年 3月～ 2006年 3月(13ヶ月)	階数: 地上 2 階、地下 階、 延床面積 250 m ²	
	専門分野名: 戸建住宅	
* 審査欄		頁内領域別実務年数(計)
		9 年 3 ヶ月
		頁内重複除く実務年数
		6 年 4 ヶ月

専攻領域別実務経歴 (1 / 1) (様式 3 - 1 - 構造) < 専攻領域別書式、1 領域 1 枚作成 >

- 注意 1. 該当項目を■塗潰し、領域毎に書類が異なりますので1枚に1専攻のみを記入して下さい。
 2. できるだけ最近の実務経歴を中心にご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。算定対象の実務は、20年前までのものです。
 3. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いて記入して下さい。
 4. 専門分野表示を希望する場合は、各分野3件以上の実務経歴を下記に記入し、うち1例以上を「責任ある立場」として様式4で写真等を添付し申請して下さい。「様式4」に記入して下さい。
 5. 1枚に書ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。
 「APECエンジニア、構造計算適合性判定資格者、構造設計一級建築士、建築構造士」の認定証(写し)提出の方は、この書式と様式4の提出は不要です。

氏名	建築 太郎
専門分野	■ 耐震診断・補強

構造	業務(プロジェクト)名: プロジェクト概要: 専用住宅	実務内容 ■企画設計 ■基本設計 ■実施設計 ■工事監理 □その他(規模構造: □RC造、■S造、□SRC造、□木造 階数:地上 3 階、地下 階、 延床面積 188 m ²
1	担当期間: 1999年 6月～ 2000年 3月(9ヶ月) 役割: □責任ある立場 ■担当者	専門分野名:
2	業務(プロジェクト)名: ○●邸及び マンション新築工事 プロジェクト概要: 専用住宅兼集合住宅 担当期間: 2001年 4月～ 2002年 1月(10ヶ月) 役割: ■責任ある立場 □担当者	実務内容 ■企画設計 ■基本設計 ■実施設計 ■工事監理 ■その他(構造設計・構造計算) 規模構造: ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数:地上 2 階、地下 階、 延床面積 267 m ²
3	業務(プロジェクト)名: ○●会社耐震診断 プロジェクト概要: 本社ビルの耐震診断 担当期間: 2002年 2月～ 2002年 3月(1ヶ月) 役割: ■責任ある立場 □担当者	実務内容 □企画設計 □基本設計 □実施設計 □工事監理 ■その他(耐震診断 一次及び二次診断) 規模構造: ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数:地上 3 階、地下 階、 延床面積 680 m ²
4	業務(プロジェクト)名: ○●建屋の免震技術に 関する設計検討 プロジェクト概要: 原子力関連建屋 担当期間: 1998年 12月～ 2004年 8月(69ヶ月) 役割: ■責任ある立場 □担当者	実務内容 □企画設計 □基本設計 □実施設計 □工事監理 ■その他(免震に着目した建屋の耐震・構造検討、免新装置用開発) 規模構造: ■RC造、■S造、□SRC造、□木造 階数:地上 7 階、地下 階、 延床面積 3,900 m ²
5	業務(プロジェクト)名: ○●総合病院保健施設 プロジェクト概要: 免震建物 担当期間: 2003年 6月～ 2003年 9月(4ヶ月) 役割: ■責任ある立場 □担当者	実務内容 □企画設計 □基本設計 ■実施設計 □工事監理 □その他() 規模構造: ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数:地上 5 階、地下 1 階、 延床面積 4,000 m ²
6	業務(プロジェクト)名: ○●団地リフォーム 建物設計 プロジェクト概要: 集合住宅の改修 担当期間: 2003年 10月～ 2004年 2月(5ヶ月) 役割: ■責任ある立場 □担当者	実務内容 □企画設計 □基本設計 ■実施設計 □工事監理 ■その他(構造設計・構造計算) 規模構造: ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数:地上 5 階、地下 階、 延床面積 2,200 m ²
* 審査欄		専門分野名: 耐震診断・補強
		頁内領域別実務年数(計)
		9 年 8 ヶ月
		頁内重複除く実務年数
		6 年 9 ヶ月

専攻領域別実務経歴 (1 / 1) (様式 3 - 1 - 環境設備) < 専攻領域別書式、1 領域 1 枚作成 >

- 注意
1. 該当項目を■塗潰し、領域毎に書類が異なりますので1枚に1専攻のみを記入して下さい。
 2. できるだけ最近の実務経歴を中心にご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。算定対象の実務は、20年前までのものです。
 3. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いて記入して下さい。
 4. 専門分野表示を希望する場合は、各分野3件以上の実務経歴を下記に記入し、うち1例以上を「責任ある立場」として様式4で写真等を添付し申請して下さい。「様式4」に記入して下さい。
 5. 1枚に書ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。「設備設計一級建築士、JABMEEシニア」の認定証(写し)提出の方は、この書式と様式4の提出は不要です。

氏名	建築 太郎
表示すべき専門分野	●空調 ●衛生 ○電気
専門分野	■省エネルギー

環境設備 1	業務(プロジェクト)名: ○○複合ビル新築工事	実務内容 ●空調設備 ●給排水衛生設備 ○電気設備 ■基本設計 ■実施設計 ■工事監理 □その他()
	プロジェクト概要: 省エネ対応の複合ビル	規模構造: □RC造、□S造、■SRC造、□木造 階数: 地上 20 階、地下 3 階、 延床面積 5,120 m ²
	担当期間: 1997年 5月～ 2000年 4月(36 ヶ月)	
	役割: □責任ある立場 ■担当者	専門分野名: 省エネルギー
	業務(プロジェクト)名: ○○クラブ新築工事	実務内容 ●空調設備 ●給排水衛生設備 ○電気設備 ■基本設計 □実施設計 ■工事監理 □その他()
	プロジェクト概要: 宿泊施設(保養所)	規模構造: ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数: 地上 2 階、地下 1 階、 延床面積 762 m ²
2	担当期間: 2000年 3月～ 2002年 2月(24 ヶ月)	
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 省エネルギー
3	業務(プロジェクト)名: ○○ビルリニューアル工事	実務内容 ●空調設備 ●給排水衛生設備 ○電気設備 ■基本設計 □実施設計 □工事監理 □その他()
プロジェクト概要: 事務所ビル	規模構造: □RC造、□S造、■SRC造、□木造 階数: 地上 13 階、地下 1 階、 延床面積 9,092 m ²	
担当期間: 2000年 6月～ 2002年 4月(23 ヶ月)		
役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 省エネルギー	
4	業務(プロジェクト)名: ○○ビル新築工事	実務内容 ●空調設備 ●給排水衛生設備 ○電気設備 □基本設計 ■実施設計 □工事監理 □その他()
プロジェクト概要: 衛生・冷暖房・換気設備	規模構造: □RC造、■S造、□SRC造、□木造 階数: 地上 2 階、地下 階、 延床面積 250 m ²	
担当期間: 2002年 4月～ 2002年 7月(4 ヶ月)		
役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名:	
5	業務(プロジェクト)名: ○○技術センター新築工事	実務内容 ●空調設備 ●給排水衛生設備 ○電気設備 □基本設計 ■実施設計 □工事監理 □その他()
プロジェクト概要: 衛生・冷暖房・換気設備	規模構造: □RC造、■S造、□SRC造、□木造 階数: 地上 3 階、地下 階、 延床面積 1,100 m ²	
担当期間: 2003年 11月～ 2004年 11月(13 ヶ月)		
役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 省エネルギー	
6	業務(プロジェクト)名: ○○集合住宅新築工事	実務内容 ●空調設備 ●給排水衛生設備 ○電気設備 ■基本設計 □実施設計 ■工事監理 □その他()
プロジェクト概要: 集合住宅	規模構造: ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数: 地上 3 階、地下 階、 延床面積 982 m ²	
担当期間: 2004年 4月～ 2005年 3月(12 ヶ月)		
役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名:	
* 審査欄	頁内領域別実務年数(計)	頁内重複除く実務年数
	9 年 4 ヶ月	6 年 8 ヶ月

専攻領域別実務経歴 (1 / 1) (様式 3 - 1 - 生産) < 専攻領域別書式、1 領域 1 枚作成 >

- 注意
1. 該当項目を■塗潰し、領域毎に書類が異なりますので1枚に1専攻のみを記入して下さい。
 2. できるだけ最近の実務経歴を中心にご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。算定対象の実務は、20年前までのものです。
 3. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いて記入して下さい。
 4. 専門分野表示を希望する場合は、各分野3件以上の実務経歴を下記に記入し、うち1例以上を「責任ある立場」として様式4で写真等を添付し申請して下さい。「様式4」に記入して下さい。
 5. 1枚に書ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。「建築積算資格者」等の免除資格認定証(写し)提出の方は、この書式と様式4の提出は不要です。

氏名	建築 太郎
表示すべき	<input checked="" type="checkbox"/> 建築施工管理 <input type="checkbox"/> 設備施工管理
専門分野	<input type="checkbox"/> 積算 <input type="checkbox"/> 診断・改修
	<input type="checkbox"/> 工事監理委任
1	集合住宅
2	維持管理
3	

生産 1	業務(プロジェクト)名: ○○集合住宅新築工事	業務内容: ■施工管理(●品質・技術 ●工程 ●コスト ●安全 ○その他[]) □積算 □プロジェクト・マネージメント(PM) □コンストラクション・マネージメント(CM) ■維持管理業務 □改修・リフォーム □その他()
	プロジェクト概要: 集合住宅 担当期間: 1998年 5月～ 1999年 5月(13ヶ月) 役割: □責任ある立場 ■担当者	規模構造: ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数: 地上 3 階、地下 階、 延床面積 2,815 m ² 専門分野名: 集合住宅・維持管理
2	業務(プロジェクト)名: ○○ハイム改修工事	業務内容: □施工管理(○品質・技術 ○工程 ○コスト ○安全 ○その他[]) □積算 □プロジェクト・マネージメント(PM) □コンストラクション・マネージメント(CM) ■維持管理業務 ■改修・リフォーム □その他()
	プロジェクト概要: 集合住宅 担当期間: 2000年 11月～ 2001年 8月(10ヶ月) 役割: ■責任ある立場 □担当者	規模構造: ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数: 地上 8 階、地下 階、 延床面積 6,803 m ² 専門分野名:
3	業務(プロジェクト)名: ○○集合住宅修繕計画	業務内容: □施工管理(○品質・技術 ○工程 ○コスト ○安全 ○その他[]) □積算 □プロジェクト・マネージメント(PM) □コンストラクション・マネージメント(CM) ■維持管理業務 □改修・リフォーム □その他()
	プロジェクト概要: 複合集合住宅の 長期修繕計画 担当期間: 2002年 9月～ 2002年 10月(2ヶ月) 役割: ■責任ある立場 □担当者	規模構造: □RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数: 地上 14 階、地下 2 階、 延床面積 22,125 m ² 専門分野名: 維持管理
4	業務(プロジェクト)名: ○○邸新築工事	業務内容: ■施工管理(●品質・技術 ●工程 ●コスト ●安全 ○その他[]) ■積算 □プロジェクト・マネージメント(PM) □コンストラクション・マネージメント(CM) □維持管理業務 □改修・リフォーム □その他()
	プロジェクト概要: 専用住宅 担当期間: 2002年 7月～ 2003年 8月(13ヶ月) 役割: □責任ある立場 ■担当者	規模構造: ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数: 地上 3 階、地下 階、 延床面積 143 m ² 専門分野名:
5	業務(プロジェクト)名: ○○協会マンション維持修繕 技術者制度	業務内容: □施工管理(○品質・技術 ○工程 ○コスト ○安全 ○その他[]) ■積算 □プロジェクト・マネージメント(PM) □コンストラクション・マネージメント(CM) ■維持管理業務 □改修・リフォーム □その他()
	プロジェクト概要: 資格制度制定 担当期間: 2003年11月～ 2005年10月(24ヶ月) 役割: □責任ある立場 ■担当者	規模構造: □RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数: 地上 階、地下 階、 延床面積 m ² 専門分野名:
6	業務(プロジェクト)名: ○○マンション改修工事	業務内容: ■施工管理(●品質・技術 ●工程 ●コスト ●安全 ○その他[]) □積算 □プロジェクト・マネージメント(PM) □コンストラクション・マネージメント(CM) □維持管理業務 ■改修・リフォーム □その他()
	プロジェクト概要: 改修工事 担当期間: 2005年 2月～ 2005年 10月(7ヶ月) 役割: ■責任ある立場 □担当者	規模構造: ■RC造、□S造、□SRC造、□木造 階数: 地上 8 階、地下 階、 延床面積 2,379 m ² 専門分野名:
* 審査欄		頁内領域別実務年数(計) 5 年 9 ヶ月
		頁内重複除く実務年数 4 年 5 ヶ月

専攻領域別実務経歴 (1 / 1) (様式 3 - 1 - 棟梁) < 専攻領域別書式、1 領域 1 枚作成 >

- 注意 1. 該当項目を■塗潰し、領域毎に書類が異なりますので1枚に1専攻のみを記入して下さい。
 2. できるだけ最近の実務経歴を中心にご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。算定対象の実務は、20年前までのものです。
 3. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いて記入して下さい。
 4. 専門分野表示を希望する場合は、各分野3件以上の実務経歴を下記に記入し、うち1例以上を「責任ある立場」として様式4で写真等を添付し申請して下さい。「様式4」に記入して下さい。
 5. 1枚に書ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。「日本伝統建築技能者」証(写し)提出の方は、この書式と様式4の提出は不要です

氏名	建築 太郎	
専門分野	1	社寺仏閣建築
	2	数寄屋造建築
	3	

棟梁 1	業務(プロジェクト)名: 宗教法人〇〇寺 本堂新築工事	実務内容 ■設計 ■施工管理 □修復工事 □診断 □その他() プロジェクト概要: 伝統建築である社寺の新築工事 用途: 寺院本堂 規模: RC造・木造 平屋建て 延床面積 703 m ² その他()	
	担当期間: 1997年 4月～ 1998年12月 (21ヶ月)	その他()	
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 社寺仏閣建築	
2	業務(プロジェクト)名: 〇〇荘増築工事	実務内容 ■設計 ■施工管理 □修復工事 □診断 □その他() プロジェクト概要: 和風の保養所、会食所に対する増 用途: 宿泊施設 規模: 地上3階 延床面積 1,763 m ² その他()	
	担当期間: 1999年 6月～ 2001年 5月 (24ヶ月)	その他()	
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 数寄屋造建築	
3	業務(プロジェクト)名: 〇〇茶室・〇〇園現状調査 報告書作成	実務内容 □設計 □施工管理 □修復工事 ■診断 ■その他(報告書作成) プロジェクト概要: 数寄屋造建築の木造耐久性調査及び伝統技術診断 用途: 茶室 及び報告書作成 規模: 木造 平屋建て 延床面積 75 m ² その他()	
	担当期間: 2000年 3月～ 2000年 5月 (3ヶ月)	その他()	
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 数寄屋造建築、	
4	業務(プロジェクト)名: 〇〇堂新築工事	実務内容 ■設計 ■施工管理 □修復工事 □診断 □その他() プロジェクト概要: 用途: 信徒会館及び礼拝堂 規模: 地上3階・地下2階 延床面積 4,927 m ² その他()	
	担当期間: 2001年 6月～ 2004年 2月 (33ヶ月)	その他()	
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 社寺仏閣建築	
5	業務(プロジェクト)名: 〇〇邸茶室新築工事	実務内容 ■設計 ■施工管理 □修復工事 □診断 □その他() プロジェクト概要: 伝統建築である数寄屋茶室の新築工事 用途: 茶室 規模: 木造平屋建て 延床面積 9.9 m ² その他()	
	担当期間: 2003年 11月～ 2005年 7月 (9ヶ月)	その他()	
		専門分野名: 数寄屋造建築	
6	業務(プロジェクト)名: 〇〇園 修理工事	実務内容 ■設計 ■施工管理 ■修復工事 ■診断 □その他() プロジェクト概要: 園内建物の木造耐久性調査、伝統技術診断、修復設計、修復工事 用途: 文化財建築 規模: 木造3階建て 延床面積 1,076 m ² その他()	
	担当期間: 2005年 1月～ 2006年 10月 (22ヶ月)	その他()	
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名:	
* 審査欄		頁内領域別実務年数(計) 10 年 4 ヶ月	頁内重複除く実務年数 9 年 2 ヶ月

専攻領域別実務経歴 (1 / 1) (様式 3 - 1 - 法令) < 専攻領域別書式、1 領域 1 枚作成 >

- 注意 1. 該当項目を■塗潰し、領域毎に書類が異なりますので1枚に1専攻のみを記入して下さい。
 2. できるだけ最近の実務経歴を中心にご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。算定対象の実務は、20年前までのものです。
 3. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いて記入して下さい。
 4. 専門分野表示を希望する場合は、各分野3件以上の実務経歴を下記に記入し、うち1例以上を「責任ある立場」として様式4で写真等を添付し申請して下さい。「様式4」に記入して下さい。
 5. 1枚に書ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。「建築基準適合判定資格者」証(写し)提出の方は、この書式と様式4の提出は不要です。

氏 名	建築 太郎	
専門分野	1	建築確認・検査
	2	性能評価
	3	

法令 1	業務(プロジェクト)名: 民間確認検査機関の確認業務	実務内容 ■確認検査(100件/年) □性能評価等() 件) □裁判所支援業務(○調停 ○鑑定) □民事鑑定 □行政支援業務等() □建築相談() □その他()	
	プロジェクト概要: 担当期間: 1991年 10月～ 1993年 9月(24ヶ月)		
	役割: □責任ある立場 ■担当者	専門分野名: 建築確認・検査	
2	業務(プロジェクト)名: 特定行政庁業務	実務内容 □確認検査() 件/年) □性能評価等() 件) □裁判所支援業務(○調停 ○鑑定) □民事鑑定 □行政支援業務等() □建築相談() ■その他(定期調査報告、定期検査報告、防災査察、道路位置指定等)	
	プロジェクト概要: 担当期間: 1993年 4月～ 1995年 5月(26ヶ月)		
	役割: □責任ある立場 ■担当者	専門分野名:	
3	業務(プロジェクト)名: 確認・検査業務	実務内容 ■確認検査(200件/年) □性能評価等() 件) □裁判所支援業務(○調停 ○鑑定) □民事鑑定 □行政支援業務等() □建築相談() □その他()	
	プロジェクト概要: 担当期間: 1995年 4月～ 2001年 3月(72ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 建築確認・検査	
4	業務(プロジェクト)名: 「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の講習会テキストの執筆	実務内容 □確認検査() 件/年) □性能評価等() 件) □裁判所支援業務(○調停 ○鑑定) □民事鑑定 □行政支援業務等() □建築相談() ■その他(建設関連法令に関するテキスト執筆業務)	
	プロジェクト概要: 担当期間: 2001年 6月～ 2003年 10月(29ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名:	
5	業務(プロジェクト)名: 違反建築物取締り業務	実務内容 □確認検査() 件/年) □性能評価等() 件) □裁判所支援業務(○調停 ○鑑定) □民事鑑定 □行政支援業務等() □建築相談() ■その他(建築監視員として違反建築物の取締り)	
	プロジェクト概要: 担当期間: 2003年 4月～ 2005年 10月(31ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名:	
6	業務(プロジェクト)名: 住宅性能表示審査	実務内容 □確認検査() 件/年) ■性能評価等(120件) □裁判所支援業務(○調停 ○鑑定) □民事鑑定 □行政支援業務等() □建築相談() □その他()	
	プロジェクト概要: 担当期間: 2005年 4月～ 2006年 10月(17ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 性能評価	
* 審査欄		頁内領域別実務年数(計)	頁内重複除く実務年数
		22 年 11 ヶ月	15 年 1 ヶ月

専攻領域別実務経歴 (1 / 1) (様式 3 - 1 - 教研) < 専攻領域別書式、1 領域 1 枚作成 >

- 注意 1. 該当項目を■塗潰し、領域毎に書類が異なりますので1枚に1専攻のみを記入して下さい。
 2. できるだけ最近の実務経歴を中心にご記入の上、担当期間の合計が必要実務年数以上となるように記入して下さい。算定対象の実務は、20年前までのものです。
 3. 担当期間が複数のプロジェクトで重複する場合は、実務経験の期間として月数を重ねてカウントすることはできません。重複する期間は除いて記入して下さい。
 4. 専門分野表示を希望する場合は、各分野3件以上の実務経歴を下記に記入し、うち1例以上を「責任ある立場」として様式4で写真等を添付し申請して下さい。「様式4」に記入して下さい。
 5. 1枚に書ききれない場合は、コピーしてお使い下さい。

氏名	建築 太郎
専門分野	1 設計 2 建築計画 3 建築史

教育研究 1	業務(プロジェクト)名: 村野藤吾に関する考察	実務内容 常勤講座 (講座時間 分 回/) 非常勤講座 (講座時間 分 回/) 研究・調査・開発 () プロジェクト概要 () その他 (修士論文)	
	担当期間: 1996年 4月～ 1997年 3月(12ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 建築史	
	業務(プロジェクト)名: 建築計画概論、建築史	実務内容 常勤講座 (講座時間 90分 50回/年) 非常勤講座 (講座時間 分 回/) 研究・調査・開発 () プロジェクト概要 () その他 ()	
	担当期間: 1999年 4月～ 2004年 3月(60ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 建築計画、建築史	
3	業務(プロジェクト)名: 建築設計	実務内容 常勤講座 (講座時間 分 回/) 非常勤講座 (講座時間 45分 2回/週) 研究・調査・開発 () プロジェクト概要 () その他 ()	
	担当期間: 2004年 4月～ 2006年 3月(24ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名: 設計	
4	業務(プロジェクト)名: 日本建築学会 2005年近畿大会発表	実務内容 常勤講座 (講座時間 分 回/) 非常勤講座 (講座時間 分 回/) 研究・調査・開発 (「循環型社会における建築士の役割」) プロジェクト概要 () その他 ()	
	担当期間: 2005年 9月～ 年 月(ヶ月)		
	役割: ■責任ある立場 □担当者	専門分野名:	
5	業務(プロジェクト)名: 建築材料の調査研究	実務内容 常勤講座 (講座時間 分 回/) 非常勤講座 (講座時間 分 回/) 研究・調査・開発 (新材料の防火性能の分析調査) プロジェクト概要 () その他 ()	
	担当期間: 2006年 1月～ 2006年 6月(6ヶ月)		
	役割: □責任ある立場 ■担当者	専門分野名:	
6	業務(プロジェクト)名:	実務内容 常勤講座 (講座時間 分 回/) 非常勤講座 (講座時間 分 回/) 研究・調査・開発 () プロジェクト概要 () その他 ()	
	担当期間: 年 月～ 年 月(ヶ月)		
	役割: □責任ある立場 □担当者	専門分野名:	
* 審査欄		頁内領域別実務年数(計) 8年 6ヶ月	頁内重複除く実務年数 8年 3ヶ月

まちづくり専攻建築士申請用
責任ある立場での実務実績（様式4 - まち）
（No. 1）

氏名	建築 太郎
専門分野	まちづくり コーディネーター

注意1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。
2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件記入して下さい。
なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件以上記入して下さい。

プロジェクト名称	〇〇地区まちなみ景観整備基本計画				
実務業務	都市の各種マスタープラン作成	土地活用	交通計画	公園緑地計画	地区計画/建築協定等
	中心市街地活性化	地域/産業振興	市街地再開発	市街地整備	共同住宅の共同化/協調化
	土地地区画整理	〇 景観・まちなみ	バリアフリー/ユニバーサルデザイン	環境/エネルギー	
	地域住宅計画	住宅地等の開発計画	住宅等の事業化支援	住民活動支援	
	その他（ ）				
依頼者・発注者	〇〇市役所〇〇課				
プロジェクト期間	2003年6月～		2004年7月		13ヶ月
担当期間	2003年6月～		2004年7月		13ヶ月
対象地区の概要	所在地	〇〇市〇〇地区			
	面積	22.5 ha			
	地域特徴	〇〇市〇〇地区は、幅員8m程で、延長約1.5kmの県道に商店街が軒を並べる中心市街地であり、伝統的町屋が多く残る歴史的環境をそなえている地区である。			
	関係団体名	〇〇町内会、〇〇商店街組合、〇〇商工会議所まちづくり委員会			
事業の背景・必要性、事業の成果					
<p>〇〇市〇〇地区は、徒歩で30分程度の通り沿いで歴史・産業・自然・文化など多数の魅力あふれる資源に触れることができる。しかし、近年の人口減少、購買客の域外流出などにより、空屋・空店舗・空地が目立つようになり、賑わいを失っている。そこで、身近にある「歴史を活かし」、市街地を「歩いて楽しいまち」として整備するべく、ワークショップなどを通じて地区住民と協働し、実現性の高い計画を策定した。</p>					
携わった立場	〇 業務受託	学術調査・研究	ボランティア		
	その他（ ）				
自身が果たした役割					
<p>〇〇商工会議所の協力を得て、町内会、商店街組合、市役所関係課などで構成される〇〇地区まちづくり委員会を組織し、そこで「歴史を活かした歩いて楽しいまちづくり」へ向けての方策を協働で検討するワークショップを企画・運営し、計画としてまとめるコーディネーターの役割を担った。</p>					
<p>業務の特徴を表す資料貼付欄（または別添） （貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等いずれでも構いません。）</p>					
※審査			※認定		

設計専攻建築士申請用
責任ある立場での実務実績（様式4 - 設計）
（No. 1）

氏名	建築 太郎
専門分野	戸建住宅

- 注意1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。
2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件記入して下さい。
なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件以上記入して下さい。

プロジェクト名称	〇〇邸新築工事								
業務内容	企画設計	<input type="radio"/>	基本設計	<input type="radio"/>	実施設計	<input type="radio"/>	工事監理	<input type="radio"/>	その他
担当期間	1999年 2月 ~ 2000年 2月						13	ヶ月	
担当業務の役割	全般的総括								
所在地	〇〇市〇〇町2丁目1-5								
建築主	〇〇〇〇								
施工者名称									
施工者所在地	中央区〇〇 1-2-3								
敷地面積							520	m ²	
延べ床面積							260	m ²	
構造	<input type="checkbox"/>	RC造	<input type="checkbox"/>	S造	<input type="checkbox"/>	SRC造	<input type="radio"/>	木造	
階数	地上 2 階 ・ 地下 階								
用途	戸建住宅								
建築確認	平成〇〇年	〇〇月	〇〇日	〇〇	号	建築主事	〇〇〇〇		
検査済証	平成〇〇年	〇〇月	〇〇日	〇〇	号	建築主事	〇〇〇〇		
特徴	<p>郊外の木造2階建住宅 広い敷地の中にゆったりとした和風建築の設計を行った。特に上下階の遮音に考慮した。また、仕上げ材をすべて自然素材で仕上げ住み手にとって健康的な暮らしが出来るよう配慮した。 本プロジェクト内では、企画段階のクライアントに対するプレゼンから、施工監理まで最終責任者として全般的に総括し、調整、指示、決定等を行った。</p>								
写真等貼付欄（または別添）	<p>（貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。）</p>								
※審査					※認定				

構造専攻建築士申請用
責任ある立場での実務実績（様式4 - 構造）
（No. 1）

氏名	建築 太郎
専門分野	

- 注意1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。
2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件記入して下さい。
なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件以上記入して下さい。

プロジェクト名称	〇〇マンション新築工事				
業務内容	<input checked="" type="radio"/> 構造設計	<input type="radio"/> 基本設計	<input type="radio"/> 実施設計	<input type="radio"/> 工事監理	<input type="radio"/> その他
担当期間	2000年 4月 ~ 2002年 2月				22ヶ月
担当業務の役割	構造設計・監理業務				
所在地	〇〇市〇〇区〇〇3丁目				
建築主	〇〇〇〇				
発注者	〇〇〇〇建築デザイン事務所				
施工者名称					
構造	<input checked="" type="radio"/> RC造	<input type="radio"/> S造	<input type="radio"/> SRC造	<input type="radio"/> 木造	
敷地面積	580 m ²		延べ床面積	2,050 m ²	
階数	地上 9 階 ・ 地下 1 階				
用途	集合住宅				
建築確認	平成〇〇年 〇〇月 〇〇日	〇〇 号	建築主事	〇〇〇〇	
検査済証	平成〇〇年 〇〇月 〇〇日	〇〇 号	建築主事	〇〇〇〇	
自身が担当した業務	〇〇の〇〇部の構造計算を〇〇手法により行った。				
構造計画での特徴	市街地の住宅団地における高層住棟。 桁方向ラーメン、スパン方向耐震壁付ラーメン構造 柱フープ、梁スターラップ（基礎除く）に溶接フープ、スターラップを用いている。 計画から施工監理まで、構造担当責任者として業務を行った。				
写真等貼付欄（または別添）	（設計図書、骨組み写真を添付する事。貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き ・ コピー等、いずれでも構いません。）				
※審査					※認定

環境設備専攻建築士申請用 責任ある立場での実務実績 (様式4-設備 No. 1)

氏名	建築 太郎		
表示すべき専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> 空調	<input checked="" type="checkbox"/> 衛生	<input type="checkbox"/> 電気
専門分野	<input type="checkbox"/> 省エネ	<input type="checkbox"/> 情報システム	

- 注意 1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。
 2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件記入して下さい。
 なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件以上記入して下さい。
 3. 「主な業務種別」欄のすべてに該当する場合は、「限定表示」欄は空欄にして下さい。

主な業務種別	<input type="checkbox"/> 空調設備	<input checked="" type="checkbox"/> 給排水衛生設備	<input type="checkbox"/> 電気設備
プロジェクト名称	〇〇複合ビル新築工事		
業務内容	<input type="checkbox"/> 基本設計	<input type="checkbox"/> 実施設計	<input checked="" type="checkbox"/> 工事監理 その他()
担当期間	1999年 5月 ~ 2002年 4月		36ヶ月
担当業務の役割	機械設備担当主査		
所在地	〇〇市〇〇町3丁目2-5		
建築主	〇〇〇〇		
施工者名称	〇〇建設		
施工者所在地	〇〇市〇〇町3丁目2-3		
構造	<input checked="" type="checkbox"/> RC造	<input type="checkbox"/> S造	<input type="checkbox"/> SRC造 <input type="checkbox"/> 木造
敷地面積	580 m ²	延べ床面積	2,050 m ²
階数	地上 7階 ・ 地下 1階		
用途	集合住宅		
竣工年月日	平成〇〇年 〇〇月 〇〇日		
専門分野を確認できる具体的 業務内容			
<p>近隣住民との話し合いにより、圧迫感を防ぐ為油圧式EVを採用した。また高置水槽をやめて、圧力水槽方式とし、タンク容量は、80%程度の同時使用率として決定した。 給湯、換気、ガス、消火設備についても機械設備担当主査として基本・実施設計・工事監理業務全般を担当した。</p>			
写真等貼付欄 (または別添) (貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。)			
※審査		※認定	

生産専攻建築士申請用
責任ある立場での実務実績
(様式4-生産 No. 1)

氏名	建築 太郎		
表示すべき専門分野	<input checked="" type="checkbox"/> 建築施工管理	<input type="checkbox"/> 設備施工管理	<input type="checkbox"/> 積算
	<input type="checkbox"/> 診断・改修	<input type="checkbox"/> 工事監理委任	
専門分野	集合住宅		

- 注意1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。
2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件記入して下さい。
なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件以上記入して下さい。

主な業務種別	<input checked="" type="checkbox"/> 建築施工管理	<input type="checkbox"/> 設備施工管理	<input type="checkbox"/> 積算	<input type="checkbox"/> 診断・改修	<input type="checkbox"/> 工事監理
プロジェクト名称	〇〇住宅 新築工事				
業務内容	建築施工管理				
担当期間	2000 年 5 月 ~ 2001 年 7 月			15 ヶ月	
担当業務の役割	現場責任者				
所在地	〇〇市〇〇町1-2-3				
建築主	〇〇〇〇				
施工者名称	建築惣一郎工務店				
施工者所在地	港区 〇〇 3-2-1				
構造	<input checked="" type="checkbox"/> RC造	<input type="checkbox"/> S造	<input type="checkbox"/> SRC造	<input type="checkbox"/> 木造	
敷地面積	580 m ²		延べ床面積	2,050 m ²	
階数	地上 3 階 ・ 地下 階		用途	集合住宅	
監理技術者名	建築 太郎				

専門分野を確認 できる具体的 業務内容

企画段階のクライアントに対するプレゼン、地元住民に対して工事説明会や近隣対策、〇〇区担当者や別途発注業者との定例会議や工程打ち合わせ、朝礼・KY活動・施工図作成・受け入れ及び工程検査・工程表の作成及びフォローアップ・予算書の作成などの現場管理（安全・品質・工程・予算）を行った。

写真等貼付欄（または別添）

（貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。）

※審査

※認定

棟梁専攻建築士申請用

責任ある立場での実務実績（様式4 - 棟梁）

（No. 1）

氏名	建築 太郎
専門分野	寺社仏閣建築

注意1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。

2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件記入して下さい。

なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件以上記入して下さい。

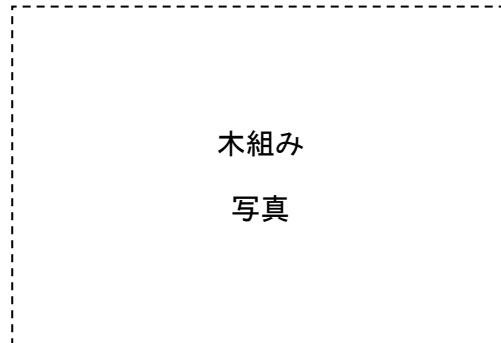
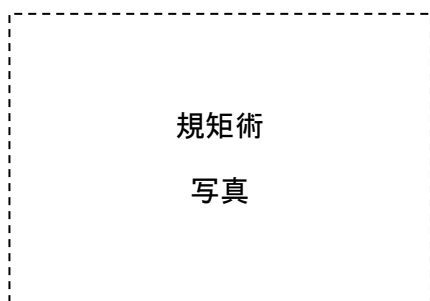
プロジェクト名称	宗教法人 ○○寺 本堂新築工事					
業務内容	木工技能	設計・工事監理	施工管理	修復工事	診断	
担当期間	1999年 4月 ~ 2000年 12月			20	ヶ月	
担当業務の役割	責任者					
所在地	○○市○○町○○4丁目5-7					
建築主	宗教法人 ○○寺					
敷地面積	580 m ²		延べ床面積	m ²		
構造	<input checked="" type="radio"/> 木造	その他（ ）		階数	地上 1階・地下 階	
用途	寺院 本堂					
竣工年月日	平成○○年 ○○月 ○○日					

専門分野を確認できる具体的業務内容

平屋木造の寺社建築の設計。
社寺の設計及び施工時における屋根廻りの原寸作成、継手・仕口の指示、建具の作成指導及び工事監理を総括して行った。

写真等貼付欄（または別添）

（規矩術や木組みの分かる写真を添付する事。貼り付ける仕様については、制約はありません。データ・紙焼き・コピー等、いずれでも構いません。）



技術習得機関名	○○工務店
所在地	○○市○○町1-2-3
※審査	※認定

**法令専攻建築士申請用
責任ある立場での実務実績（様式4 - 法令）
（No. 1）**

氏名	建築 太郎
専門分野	建築確認・検査

- 注意1. この申請書は、記入前にコピーし、1プロジェクト毎に1枚記入して下さい。
 2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件記入して下さい。
 なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件以上記入して下さい。
 3. 関連資格（建築基準適合判定資格者・検査員・評価員等）に関する証明は、別紙添付して下さい。

関連資格	<input type="radio"/> 建築主事	<input type="radio"/> 建築基準適合判定資格者	その他（ ）
専攻対象	<input type="radio"/> 行政機関の建築確認、法令の策定		民間確認検査機関、評価機関等の業務
主要な業務	<input type="radio"/> 行政業務	<input type="radio"/> 確認検査業務	建設関連法令に関する専門家 住宅性能評価業務
	裁判所（民事調停委員、民事鑑定委員、民事鑑定人）支援業務		
	行政（建築工事紛争委員会委員、建築士審査会、建築審査会）支援業務		
	建築士会の建物相談（法令に関する）等の実績		営繕部などでのPDI等の発注業務
担当期間	1998年 4月 ～ 2005年 6月		87ヶ月
担当業務の役割	指導課係長		
実務経歴内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・ <input type="radio"/> <input type="radio"/> 市建築指導課係長 建築確認審査業務（<input type="radio"/>担当） <input type="radio"/>件/年 × <input type="radio"/>年 「木造3階：<input type="radio"/>件+非木造：<input type="radio"/>件」 ・ 中間検査（建築基準法 第7条の3項） <input type="radio"/>件/年×<input type="radio"/>年 ・ <input type="radio"/> <input type="radio"/> 民間確認期間 建築基準検査員 <input type="radio"/>件/年 の中間検査及び完了検査 住宅性能評価 評価員 <input type="radio"/>件/年 の評価業務 ・ <input type="radio"/> <input type="radio"/> 裁判所より民事調停員の任命を受ける <ol style="list-style-type: none"> 1. 第<input type="radio"/>号の建築紛争調停を担当 2. 第<input type="radio"/>号の建築紛争調停を担当 3. 第<input type="radio"/>号の建築紛争調停を担当 			
※審査		※認定	

教育研究専攻建築士申請用
責任ある立場での実務実績（様式4 - 教研）
（No. 1）

氏名	建築 太郎
専門分野	設計

注意1. この申請書は、記入前にコピーし、実務実績の項目、内容毎に別の申請用紙にNo.をつけて下さい。
2. 責任ある立場での代表的な業務を1枚に1件で、計3件記入して下さい。
なお、専門分野表示を申請する場合は、その専門分野毎に3件以上の実務実績項目と内容を記入して下さい。

実務内容	<input checked="" type="checkbox"/> 教育機関における教育・訓練等の業務	研究開発に係わる業務
実務経歴期間	2002年 4月 ~ 2003年 3月	12ヶ月
職名	助教授	
実務実績の項目		
<input checked="" type="checkbox"/> 教育機関において講座を担当 <input type="checkbox"/> 建築学会及び関連機関での公表論文等 <input type="checkbox"/> 研究開発部門での調査・開発プロジェクトに従事 <input type="checkbox"/> 学位論文（ 1 . 修士 2 . 博士 ） <input type="checkbox"/> その他		
実務実績の内容（※上記の実務実績の項目ごとに1枚記入して下さい）		
<p>担当講座：建築設計演習 対象学年：学部1年生 履修条件：必修科目</p> <p><講義概要></p> <p>建築空間を創造していくための知識や手法の習得を目標とする。人間の生活を見つめ直し、住まいに不可欠な要因である機能性、快適性などを考察し、それにふさわしい建築空間をイメージ出来るよう導き、それと同時に、それらを表現伝達する手段を講義していく。</p> <p>建築設計能力の初期段階として、身の回りにある住居内の小空間から、順次居住空間全体に拡大して空間を把握し、造形的な想像力とスケールに対する感覚を養い、空間を創造する手法と設計の手順を講義する。</p>		
※審査	※認定	

CPD単位確認書 ※必要単位を満たしていますか。(様式5)

注意 1. CPD単位の集計表です。必要単位数を提出して下さい。

2. この書類では単位申請できません。『CPD単位換算表』を参照の上、

別紙「CPDプログラム認定申請書」にて申請して下さい。

会員番号	1000000
氏名	建築 太郎
対象期間	2004年11月～2009年10月

継続能力開発の種別	研修内容	単位換算方法	単位数	認定										
■CPD個人実績表	データ登録済の単位数…個人実績表を添付して下さい。<うち実務 15単位>		74											
■CPD手帳単位	CPD手帳又は貼付シートの未登録バーコード単位		30											
■今回プログラム認定申請書で申請するCPD単位合計			46											
1 活動型 研修	1.1 社会貢献活動型	住宅相談、まちづくり活動、応急 危険度判定、行政支援活動、裁判所 調停委員等、住教育支援など	活動時間×2	12										
	1.2 情報提供型	講習会講師、各種講演、論文発表 (論文作成は実務実績)等	活動時間×2	0										
	1.3 委員会活動型	各種委員会、審査会など (他団体を含む)	1回(2時間)1単位。	6										
2 参加型 研修	2.1 認定研修	特別認定研修(指定講習など)	受講時間×2	28										
		認定研修(特別認定以外の公益 法人等主催の講習会)	受講時間×1											
	2.2 他講習会、見学 会、社内研修等	認定研修以外の講習会、講演会、 視察旅行等、社内研修等	参加時間×1(目安:一日6単位、2時間未満は2単位) (印刷物などの事実を証明できる資料が必要) ・展示会は一律1単位。海外視察は1日2単位/出帰国日は単位認定外											
3 自習型 研修	3.1 認定教材 による研修	雑誌記事・連載講座 (指定する建築関連記事等につい ては、10頁あたり1単位。単発の特 集記事は50頁あたり1単位を原則 として、内容により加減。)	・会誌、下記雑誌等の認定講座には単位バーコードが 掲載されています。(連続講座は最終号に掲載) ・日経アーキテクチャー、日経ホームビルダー、建築技術、建築知識、 新建築、彰国社の認定講座は個別に単位認定	0										
		認定図書	プログラム評議会でも個別認定(内容と頁数により、1～5単位で認 定)											
■今回専攻申請書3-1、添付資料等で申請する実務によるCPD単位の合計			120											
4 実 務 に よ る C P D	加点による単位	資格の取得、雑誌・本の執筆 (地域貢献活動・裁判所・住宅相 談・執筆等は、実務状況に併せ、 研修・実務いづれか一方での申請 可。	・国家資格:10単位、民間資格:5単位 ・博士号取得:20単位 ・本執筆(10、共同執筆5) 雑誌(2、10頁以上4単位) ・コンペ(応募:5 入賞:10) ・展示会出展:2単位 ・非常勤講師 1講座5単位(半年) その他	10										
		業務期間	1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 月数											
	実務期間による 単位	2003年	/ / / / / / / / / / / / / / / /											1
		2004年	/ / / / / / / / / / / / / / / /											10
		2005年	/ / / / / / / / / / / / / / / /											9
		2006年	/ / / / / / / / / / / / / / / /											12
		2007年	/ / / / / / / / / / / / / / / /											12
		2008年	/ / / / / / / / / / / / / / / /											11
	各年ごとに業務を行った月のセルに色・棒線をつけ、月数の欄に月数の合計を記入												小計	55
												小計×2単位	110	
合計 (右に特記事項等記入)				270	/250									

※審査欄			
------	--	--	--

専攻建築士審査・登録申請書 (様式6)

氏名	建築 太郎
----	-------

申請書類確認書

申請者 チェック欄	様式名	書類名・内容	備考	*確認
✓	様式1	審査・登録申請書(誓約書)	顔写真1枚貼付	
✓	様式2	審査・登録申請書(一般事項)	顔写真1枚貼付	
✓	様式3	審査・登録申請書(建築士免許取得後の職務経歴)		
✓	様式3-1	審査・登録申請書(領域別実務経歴)(領域別書式)		
✓	様式4	審査・登録申請書(責任ある立場 3件以上)(領域別書式)	写真貼付 6枚	
✓	様式5	建築士会継続能力開発(CPD)単位確認書	1枚	
✓	様式6	審査・登録申請書(書類確認書・払込貼付書)		
✓	添付書類	建築士免許証(写し)		
✓	添付書類	他資格者証の写し(特殊建物等調査資格者)	資格 1枚	
✓	添付書類	CPD個人実績証明書(土会事務局発行)の写し	3枚	
✓	添付書類	CPDプログラム認定申請書・CPD手帳・CPD貼付シ	7枚 冊	

手数料払込内訳

※該当する箇所に○印を付け、合計金額を記入して下さい。

1. 申請領域数		1 専攻領域申請 16,800円	※内訳 専攻登録料 6300円 + 1 領域審査料10500円 (1 専攻領域追加毎に10,500円を加算して下さい。)
	○	2 専攻領域申請 27,300円	
		3 専攻領域申請 37,800円	
2. CPD手帳		希望する 3,000円	※保有していない方は、CPD参加登録が必要ですので、手帳代・年間管理費等の計3,000円を加算して下さい。
3. 合計金額		27,300 円	

審査・登録申請手数料の払込証明書(写し)貼付欄

「郵便振替払込請求書兼受領証」の写し
を貼付してください。

振込口座

■郵便振替：01010-9-21890

■名義： 社団法人滋賀県建築士会